

京都西北ロータリークラブ

2013～2014 年度

西村 篤 編集

島崎俊夫会員語録

第 2 集

ただ乃路人

路傍の眩き



DISTRICT
2650 KYOTO-NORTH WEST

京都西北ローフリークラブの皆様へ

西北R.C.の皆様、ただ今路人語録13～14年度にて
再度のお付き合い^{たま}給あれば、西村篤会員の尽力と共に小生
満腔の謝意を申し上げます。

さて、前年度の内容は人生いろいろの話、ギョンド魂と磨く話、
再建ACT8年の感動と卒業の話などに駄文を寄しました。
今回、13～14年度、戦後70年になりながら何と当時の戦闘機
零戦が急に今世に姿を現し、^{この}人の^{あし}膺灸、つれ小説、映画に活躍、
当時の青少年もびっくり、又時代の影を写したスラップ細胞事件、
わがクラブにふり向けば、若き気鋭の会員5名のスピーチに示された
個性ある^{しげん}至言に、わがクラブの前途の洋洋である事を確信した
心強い記憶を思い出す年でありました。それこそ大事業と
再建ACTの今第II世代は、全員男性会員となり、又新しい文化が
OB、OGの協力のもと確立しつつあります。
全員のご活躍と、クラブの^{いやひ}繁栄をお祈り致します。

西北R.C.会員

島崎 俊夫

2015.4. 吉日

新しい音色^{ねいろ かね}の鐘が鳴る。どうぞ安らぎ^{やす}に浸る^{ひた}気分で例会に向かえる様に、楽しみにしています。敬虔^{けいけん}な神に向かう水曜学校の気分で一週に1回、心を清めたいと思います。1年間よろしく。

第1803回例会（2013年7月3日）ニコニコボックスより

ACT 再び試練の時

再建西北RACに遂に来了。世代交替^{せだいこうたい}の試練^{しれん}の時が来了。今後数年の経験は、将来の人性のあり方に、大きな貢献をしてくれる筈です。成功は、向こうからやって来ない。向かって行って掴む^{つか}もの、先輩達^{かいだく}の開拓して来た道を継ぎ、その精神と手法^いを生かして、西北ACTの輝かしい歴史の姿を更に発展、社会に貢献し、成長して行って下さい。

第1803回例会（2013年7月3日）ローターアクト・ニコニコ箱より

理念を「神」とし得るか

…と言うことが真相だ…、うそだ、あり得ない。一つの事柄を表現するのに、前者を本音、後者を、立て前^{たてまえ}と呼ぶ時があります。英語で前者をbottom line^{本質の}、後者はprofessed intention^{見せかけの}、必ずしも適中していませんが、英語には、ぴったり語見当たりません。多民族国家では、人種・性別などに拘わる差別は、社会の安寧上、絶対不可です。従って「たてまえ」と言う概念は存在せず、全て正義でしか存在しないと言うのです。これはpolitically correct^{ポリティカリ コレクト}（政治的正しさ）と言われ、正論とされています。日本の歴史的過程からは、ある種^{しゆ}のいく違いが感じられます。国際的論議に、かみ合わない所があるのは、この政治的正しさと言う概念を認めるには、日本民族の純粹さからは明治政府立ち上げの面々と論議を必要とします。他国では、「理念」と言う心の根本的・絶対的な神を創造して、この神の権威によってこの問題を解決したと思われ（以下次週で又）

第1804回例会（2013年7月10日）ニコニコボックスより

西北ACTとしてのアイデンティティ

アイデンティティとは、自分が自分であり、何者であり、どの位置^{とど}に立っているかを自覚すること。そこで、京都西北RACの一員である事をまず心に止め西北の先輩の育て上げた魂を、引き継ぎ、優秀な第II世代として、又存分に、伸び伸びと活躍して下さい。

第1804回例会（2013年7月10日）ローターアクト・ニコニコ箱

絶対的善は皆同じであるべし

神に裏付けされた「理念」に逆らう事は、その国では、あり得ない。つまり、その国の正義^{ポリティカリ コレクト}はpolitically correct（政治的正しさ）かも知れません。我々には本音^{ほんね}と立て前^{たてまえ}を使い分ける意識が、他国と比べて多いと感じます。個人によって使い方が異なり、又同じ個人でも時と場合によって、使い分ける時もあります。前週に申しました様に、英語の立て前^{たてまえ}と言う語は、日本語との、ぴったり感がなく、説明語的な表現となっています。考えてみますと、他の国では、立て前などという心理状態は、やっかいな事らしい。同じ事^{こと}が善^{ぜん}になったり悪^{あく}になったりする事は、あり得ないと。日本には心理学的に、「絶対的権威^{ぜつたいきけんい}」と言うものが見当たりません。どこのホテルにも、デスクの引出しに「バイ

ブル」が入っていたり、議会・法廷の宣誓時に、あのテーブル上の荘重な聖書への手をのせるスタイルは、やはり、絶対的善の存在とその重要さに気がつきます。わが国と彼等との奥の奥にある精神の着地点に、元々違いはないと私は思っています。ロータリー一掃い無しとするのは、この呼吸の故だとおもわれます。

第 1805 回例会（2013 年 7 月 17 日）ニコニコボックスより

新・会長、各委員長の所信表明も上出来。新・ローターアクト委員長も又新鮮で若々しい希望を感じるスピーチ。そして、OB OGが、その重厚なパワーで後押しの決意を見せてくれる態勢に、百万馬力の力を得た。会長方針の「突撃」の姿が、ぶっ飛ばない様にじわりと柔軟に、宝の経験を伝授願いたい。

第 1805 回例会（2013 年 7 月 17 日）ローターアクト・ニコニコ箱より

御意見番とは

ご意見番の意見は、主意見に対して、ねじれたご意見であるかも知れません。しかし、ねじれていても、確固たる理論の裏付けが必要です。筋が通り、人を納得させる根拠が必要です。参院での、二院制は、それによってこそ価値があります。この事を考えた事、あるのでしょうか？反対意見だけでは、世の中、成り立ちません。一般社会でも同じことですものね。

第 1806 回例会（2013 年 7 月 24 日）ニコニコボックスより

この本、読破のチャンス

7 月末から 8 月中、学校は夏期休暇、世間もバカンス十分気分を休め、身体のリフレッシュもしよう。しかし、普段吸収し得ない知識、経験などを、身につけるチャンスは、この時を見逃す事なく、挑戦してみよう。せめて、2 冊の文庫本を読破*しよう。

*読破：全部、読み通すこと。決して、読んで破る事ではありませんぞ。

第 1806 回例会（2013 年 7 月 24 日）ローターアクト・ニコニコ箱より

アイデンティティの再確認の為に

IMも接近、8 月は宗教的な環境となります。別の音色の鐘が、いかにも京都らしい、手元この本を、読もうと思います。70 年近い昔、ある初版本を、先輩が「高校へ来たからには、これを読め」と押しつけた。「古寺巡礼」、悩める悲喜交々の青春の洗礼でした。終戦の直後、日本は廃墟の中からやっと文化、知性への*希求が芽生えて来ていました。この本、著者は、有名な倫理学者。大正 8 年（1919）、和辻哲郎は、2、3 人の友人と共に奈良付近の古寺を巡った時の印象記。30 才の若者の寺・仏像への驚嘆する、審美眼、鋭い洞察力、日本文化・美術に対する全身から、迸る感動の描写、当時戦後思潮*の混乱の中で、知に飢え、知への憧憬に浮遊する高校世代に、癒しを満たす書籍として、奪う様に迎えられた。私はこの夏、この本をもう一度読もうと思う。ロータリアンの老いて薄れるアイデンティティを引き寄せる為に。

*希求：崇高な目標を実現したいと願うこと。

*思潮：しちょう。その時代の思想のこと。

第 1807 回（2013 年 7 月 31 日）ニコニコボックスより

秋の疲れ

地上は猛暑、空に高く、それは秋の掃いた様な雲、この季節、いささか寂寥の感に囚われる時があり、思わず頭を振り払って、我を取り戻す。

皆様、秋に疲れの出ませぬ様に。

第 1808 回例会 (2013 年 8 月 7 日) ニコニコボックスより

IM ホストで見えたわが身

1 年の準備、完璧な IM 行事、最大の感謝と祝詞を。ロータリー社会の中庸性、勤勉、適度のプライド、奉仕義務感とバランスのとれた儉約意識——と、現代ロータリアン象、どの年代層も均整がとれ、まあ「こんなもんか」と言葉どおりか。否、よく奥を読む事、わがクラブの超精密な運営プロセス、リーダーシップ総合力量の精神的洞察力によって見えて来た事、それは若年ロータリアンの改新指向への確かな徴候、これぞ度重なる委員会活動からの動機、公式行事への担当による責任感の増大、醸成——など目に見えて身につけるロータリアン的身のこなし。さてこそ西北 RC の将来は洋洋の光が確実に大きく点燈しています。それが確認できた今回の IM のホスト役、皆様ご苦労様でした。そして、ご同慶の至りであります。おわりに、どんなもんや——

第 1809 回例会 (2013 年 8 月 21 日) ニコニコボックスより

将来のロータリアンにお礼

ACT 達、卒業した諸君達も共に IM への協力、本当に感謝。何と、心強い西北の仲間ではないか、又の日、ロータリアンとして巡り合わせとなる様に祈っています。

第 1809 回例会 (2013 年 8 月 21 日) ローターアクト・ニコニコ箱より

“風立ちぬ” 思い出した日本のこと

「風立ちぬ」とは、ああ秋になったなあと言う感慨を込めた言葉。雅語として純粋の優雅な日本語です。9 月 1 日に引退を表明したアニメ監督、宮崎 駿 さん、今上映中のアニメ「風立ちぬ」をベネチア映画祭にコンペ参加している、かつての有名な戦闘機、零戦の設計者、堀越二郎氏の半生と零戦の生涯・運命を描いています。この小さい飛行機が、当時の日本と言う国家、日本人と言う人間の有り様を如実に、正直に表現していたと思いますのです。70 余年前、日本人の特性が見事に表現された製造物でした。良くも悪くも大和魂の根源でした。また、次に。

第 1811 回例会 (2013 年 9 月 4 日) ニコニコボックスより

空は荒れても身は闊達に

9 月になって、気分がほっとする時期、しかし空も地上も大荒れとは。ACT 諸君、身も心も、十分に鎮静を心掛けて、落ちついて、新しい計画に精神を統一、進んで下さい。西北 ACT らしく明朗闊達に。

第 1811 回例会 (2013 年 9 月 4 日) ローターアクト・ニコニコ箱より

日本技術の深奥を見よ

今、手元に零戦の設計者、堀越二郎氏ともう 1 名の書いた、かなりくわしい本があります。6 百数十頁に記された戦後、残っている資料を元によくここ迄と思われ

るこの日本、技術遺産を、私達はいかに扱^{あつか}うべきか、私は今、天を仰いでいま
す。日本の技術魂にどう対応すべきかと。又

1812 回例会 (2013 年 9 月 11 日) ニコニコボックスより

ACT の行為は青春の普遍的理由がある

刻苦^{こつくべんれい}勉励、聞く事も無くなった言葉、わきめもふらずその事だけに一心に、仕事、
勉学^{つと}に努めること。私達の受験時代、これを修練^{しゅうれん}と言うべきか。難行^{なんぎょう}に酔う時代だ
ったのか。ACT 達気候も良くなり、伸び伸びと新しい西北 ACT 進路を邁進^{まいしん}され
よ。先輩達の作り上げた人生行路は、生涯の人の最善の筋道を指しています。
自己の世界をひろげよう。

第 1812 回例会 (2013 年 9 月 11 日) ローターアクト・ニコニコ箱より

偶然の遭遇は不都合な事ばかりではない

千年、百年、そして何十年に 1 度と言う天然現象^{てんねんげんしょう}なる天災に、何故小生が遭^あわねば
ならないのか、待てよ一あの凄まじい世界大戦にも遭遇^{そうぐう}した。長いスパンの天災も、人災
も、人間の短い一生に凝縮して経験するのが現代人の宿命か。しかし私達現代人は良い
事も、又大いに経験できる、それは己^{おのれ}の精神の持ち方次第で、好ましい環境^{そうせい}を創成可
能だと思ふ、これも又我々の特権でしょう、御同輩。

第 1813 回例会 (2013 年 9 月 18 日) ニコニコボックスより

日本人の連綿とした美意識

日本は戦前から、動く建造物に対しては、日本人としての個性をよく表現した名機名
艦、と呼ばれる創造物を生み出していました。零戦のあの均勢のとれた姿態、それと空中
戦をしたアメリカのグラマン F6、イギリスのスピットファイアと比べてもその精悍^{せいかん}さは
抜群^{ばつぐん}であり、当時の戦艦「大和」の優雅とも言える盤石感^{ばんじゃくかん}、巡洋艦「利根」*1 の洋上の
豹^{ひょう}を髯髯^{ほうふつ}とさせる身構え、まだあります。SL は C57*2 を貴婦人と今だに呼ぶ、日本人
の美意識、戦前の客船の美しさ*1、日本人はキレイ好きだったのです。その魂が戦闘機
にどんな影響を与えたのでしょうか。又 次に。若い会員諸氏もぜひ知って頂きたいの
です

※1 「利根」は、会友、馬場利一氏の乗艦でした。当時の世界一の高性能艦、且 優美な軍艦でした。

※2 SL は蒸気機関車、C57 は今も山口線で活躍しています。細く長いボイラー均整バツグンの姿態

※3 戦前の「鎌倉丸」や、「あるぜんちん丸」

第 1816 回例会 (2013 年 10 月 16 日) ニコニコボックスより

日本民族の特性とは

零戦の事を書いていました。零式艦上戦闘機の略で昭和 15 年 (1940) に、日本海軍
が民間に発注し (三菱など)、正式に採用した 1 人乗の戦闘機です。その優秀性が戦後
何十年かたっても尚、その性能を高く評価する場面が、米・英の社会で盛んに発生して
います。米・英・独・仏国に比べて、後発^{こうはつ}の日本航空機の歴史の中で、今だに評価され
るとは一体何を見て言っているのでしょうか。戦後、アメリカの政界、航空機関係機関、
パイロット協会の重鎮^{じゅうちん}等の一致する発言は “The greatest plane ever built” 零戦は世界
最高の飛行機だと。後進国日本の、この小さな飛び道具の何が彼等を魅了^{みりょう}したのか、イ
ギリスの高名な航空機評論家氏、「零戦は、日本軍にとって全てであった。それは、日

本軍の作戦を象徴し、零戦の運命は日本国の運命であった」と、その存在感の大きさ。小生の手元に、零戦の開発設計、生産、試験飛行、実戦、最後の特攻作戦に至る実録、評論、文献が数十冊積まれています。零戦を通して、当時の先進諸外国は、日本民族の何を見たのか、彼等の見た民族の特性を、私達は、気付いているのか、自覚があるのか、彼等の絶賛する民族の能力を、そのDNAを内蔵しているに違いない、日本の若者達、零戦の2,3の中身を見よう、そしてわが民族の特性について、じっくり考えましょう。次に又。

第1817回例会（2013年10月23日）ニコニコボックスより

厄年か

又、今週はずっと、台風に伴う雨と、嵐山を大変な事にした台風から1ヶ月、その後数珠繋ぎで18号から28号に、日本は今厄年に、皆様、お互いに気を付けましょう。零戦の話は、又、次の機会によろしく。

第1818回例会（2013年10月30日）ニコニコボックスより

要求は命の軽視

零戦の性能に対して設計者に与えられた要求、軍から命じられたその性能を端的に表現すると、攻撃能力抜群、航続距離長大の2つに括られます。そして、この命題を達成する手法は唯一、機体重量を軽くする事に尽きるのです、この単純明解な指示が将来世界に、零戦の名を轟かせ、更に一方では、日本の命運をその神秘性と共に、地平の彼方に埋没させてしまったのです。機体を軽くせよ、それは命も軽くせよ—と同意語だったのです。次に又。

第1819回例会（2013年11月6日）ニコニコボックスより

「指揮をとろう」と言う決心

ACT再建後、毎週、貴君達に送ったレター、その内の1通、再建3年目のある日、北海道で、山の遭難事故あり10人死亡、生還の10名を含め、皆60才のベテランと。しかし、生還者はバラバラで下山。この年齢を聞き、小生はショックと怒り、この年代層は、指揮者不在か、「俺が指揮をとる」と誰も申し出ないのか。再建ACT3年目の諸君に伝えた。君達はACTで人に号令する事を学ぶこと—と。ACTなら、それを身につけるだろうと。先任者が居なくなれば、「これからは俺が・私が指揮をとる」と。災害多発で思い出しました。

第1819回例会（2013年11月6日）ローターアクト・ニコニコ箱より

日本文化向上に寄与

秋は喜びの季節、会友馬場利一氏、会員吉田英治氏、ご両人の黄綬褒章おめでとうございます。車で吉田さん宅の近傍から仰ぎ見る、あの垂直の整然と屹立する杉の山々を見る時、その背後にある京都伝統産業の見事な成果、きれいに加工され、磨かれた製品の立ち姿、ここ迄でも十分、美術品の面影を誇っています。

又、会友馬場利一氏、子供には親が腹一杯、勉強より以前に十分心を込めて食べさせよと。何とまでもで嬉しい事を言って下さる事が、重巡「利根」の艦橋から、今も温顔の馬場さんが世の親たちに諭しておられます。日本の子供達への限りない愛情。京都西

北ロータリークラブには、日本の文化を向上させ磨き上げる力を持った方々が数多と在籍しておられます。いつ迄も立派なご活躍の事を。

第 1820 回例会 (2013 年 11 月 13 日) ニコニコボックスより

情報集会の意義

先日の情報集会、お世話になりました。大勢ご参加ご苦勞さまでした。結局、魅力あるクラブとは、そのクラブの構成会員 1 人 1 人が、魅力ある人物になる努力をする事が、魅力あるクラブになる要諦*だと思ひます。R、の「情報集会」は考える集会ですね。国家の「情報」は、例えば零戦の場合その情報は、一国の命運に、激震をもたらします。又、

※要諦：ある事の本質を見極める為に、しっかりとつかまえるべき点

第 1821 回例会 (2013 年 11 月 20 日) ニコニコスより

ACT 活動区切りの確認を

日本の季節、心持の区切りは、やっぱり年の区切り、年末・年始ですね。ACT 達、今年の活動の区切りは、十分明確に、自覚出来ていますか。会員同志の気持ちの疎通も、京都西北ローターアクトとして強固に結ばれていると確認されますように。

第 1821 回例会 (2013 年 11 月 20 日) ローターアクト・ニコニコボックスより

設計者の血の滲む葛藤

零戦、当時の世界最強の戦闘機でした。空中戦は 2 国間の 1:1 の決闘でした。時速 600km の追跡、急降下 (マイナス G) *宙返り、横滑り、急旋回で 7,7 ミリ : 20 ミリの機関銃を打ち込む。戦場迄往復 1,700km 1 万メートルの高度を飛ぶ事も。縦横無尽の戦術を駆使する機体の重量は、自重 1,7 t この性能を発揮するエンジン出力 1,100 馬力!これが米・英機の半分の力。当時エンジン技術の限界でした。この非力を補う為にとられた手段の軽量化操縦系統の工夫でした。ここから設計者、堀越二郎らの血の滲む奮闘の話になります。これは己の心中の正義と技術者魂との激しい葛藤を伴う戦いでありました。戦争中の技術者は、目の前に敵が居なくても、内なる敵と対しながら、辛い設計図を作成していました。次に又、

※G は加速度、上昇時は体が重くなり、下降時は体が浮きます・・・

第 1822 回例会 (2013 年 11 月 27 日) ニコニコボックスより

ACT は演出家となる

先日の AKT 行事。君達にかかると京都 12 の文化資源は忽ち愉快的な劇場になる。何と器用な演出家か。かくの如く京都のポイントは、接する者に、無限のエネルギーを与えます。何かを考えさせる、面白い行事でした。ロータリアンのご参加の皆様、ご苦勞様でした。やっぱり、親会員さんに見て頂く事が大切です。感謝。

第 1822 回例会 (2013 年 11 月 27 日) ローターアクト・ニコニコ箱より

零戦神秘性の所以

機体は軽くする為の各部の構成部材は、その質量、構造共に、徹底的に検討され日々、

1 グラムずつの軽量化が図られて行きました。外板も薄く、必要強度は極限に近く設計された、着陸装置もこれはかなりの操縦者の技量を前提としての強度設定となる。ここから、堀越二郎を初めとする設計陣の苦悩に満ちた、設計の思想問題に直面する事になる。普通、操縦者の背後には、背面からの攻撃に備えて、頑丈な防弾用の鋼板を取り付ける。零戦には、無装備、予備の燃料タンクは機体下に吊り下げた、ゴム類で覆っているが、それも裸のまま、操縦系統のロッド（棒）類も柔軟性を理由に、軽量化を図る。当然、設計者には、搭乗員への命と換えに機体の軽量化を果たしたと言う、口に出せない苦悩があった。この身軽な機体を使って、敵を後ろに付かせず、こちらがやられる前に相手を倒せ、これが、空中戦での我が軍の戦法だったのです。そして開戦当初はこの戦術は、明らかに通用し、世界の航空戦法は、零戦によって震撼のるつぼと化し、その結果零戦の神秘性がささやかれた。その背後には日本搭乗員の類の無い、熟練の操縦技能、命を軽くして、機体を軽量化した日本独特の発想でした。今考えれば先輩達の、この決断に、まなじりを決して、零戦と共に火の玉となって散る事になる。実態は、ある情報によって日本の運命に繋がって行く事になりました。次に又。

第 1823 回例会（2013 年 12 月 4 日）ニコニコボックスより

ACT 初の男性会長

あつと言う間に 12 月。初の男性会長殿、いかがですか。学校での実社会も忙しいでしょうが、若者は、忙しい時こそ、頭がよく回り、又心配りも、世間の見え方にも、実力が出て来ます。どうどうと指示を出し、意見を出し、クラブに活力を生み出してください

第 1823 回例会（2013 年 12 月 4 日）ローターアクト・ニコニコ箱より

ACT 年の瀬となる

もう年の瀬、もう何度迎えたのか、軽くなった零戦の、話をするのは、何と重い事か。今日は、クリスマス例会の方に、ゆっくり向き合う事にしよう。皆様、ご苦労さま。

第 1824 回例会（2013 年 12 月 11 日）ニコニコボックスより

12 月 8 日をご存知か

今年のぐくぐりの家族忘年会、ご準備下さった皆様ご苦労様。零戦の心に残る事態の決着を付けなければ。所が 3 日前、いや 72 年前の 12 月 8 日、日本がアメリカ、イギリスの大国と戦争を始めた日。小生 13 歳あの時の心臓の鼓動と今日のサンタクロースに合う高揚感との何と長い距離だった事、よくもまあ、あんな壮絶な戦争を 3 年 4 ヶ月もやったものか、しかも、ちょっとした情報の結果から、この勝負は早くから予想出来たものを、勝つも負けるも、日本人の特性そのものでした。

第 1825 回例会（2013 年 12 月 18 日）ニコニコボックスより

事に挑む決心を

これからの ACT クラブ、新しいクラブを立ち上げる位の意志と覚悟をもってやって行こう。若者達、人生、何度でも、挑戦の必要な時がやってくる。己に負けるなよ。見ている。

第 1825 回例会（2013 年 12 月 18 日）ローターアクト・ニコニコ箱より

日本民族の特性 その頭脳

あの神秘性を世界に見せつけた零戦」の栄光から、悲壮な終結を迎える迄を思い起こし、日本民族の備える魂・DNA、特性を見つめます。空中戦に強い戦闘機は運動性能増大の為、軽量にする事を最大の眼目とした。外板は薄く防弾対策は施さず、構造物の安全率は、1,8を最大に、細かく部所によって最少とする。経済的にも1kgの軽量化は、量産時、30時間軽減になると、人命も経済も軽量化の対象となる。又操縦桿を含む系統は加える力に比例して撓む柔軟性による操縦感覚か、日本人の繊細さを最大に引き出しえた。70数年前、住友金属の超超ジュラルミンの採用で、軽量高張力材の使用当時日本最高の頭脳から出た零戦、それに搭乗する百戦錬磨の勇士達。1937年、中国にて戦火勃発、41年8月15日、米英と開戦、その数年前から零戦は、戦場に現れ、米英は開戦後も、自国側の被害の大きさに、理由は謎のまま航空機、軍艦等を失っていた。だがしかし、ここに、戦況に一大転機が起こった。又次週によろしく。

上記内容；(株)朝日ソノラマ発行、著書堀越二郎、奥宮正武「零戦」1992,8,10発行による。

第1826回例会(2014年1月8日)ニコニコボックスより

早くも局面逆転

皆様よい新年をお迎えになりましたか。小生まだ惰眠から覚めずリズムは——いけない、思い出せ、そう、72年前、1942年連合艦隊司令官、山本五十六大将の仕掛けた、ハワイ西北のミッドウェイ、アメリカ西方アリューシャンから更にカムチャッカ迄の壮大な距離の敵要衝への、航空母艦、零戦での大攻撃、所が当時、日本の暗号・情報、皆、敵方に解読されていました。ミッドウェイでは4隻の空母を失い両戦線共、戦略、戦術を読まれた日本は大量の零戦と熟練戦士を失い、これを境に、日本軍勢力は攻撃から防戦にと、局面は次第に逆転して行つた。開戦後6ヶ月、あゝ己んぬり哉——又次回。

第1827回例会(2014年1月15日)ニコニコボックスより

ACT委員長は強力な機関車たれ

ACT諸君、新年おめでとう。さあ新鮮な、西北アクト魂を全開して、先輩OB・OGの開拓した王道を全員で更に掘り進まれよ。内橋委員長、どうか、強力な機関車になって下さい、よろしく

第1827回例会(2014年1月15日)アクト・ニコニコ箱より

零戦解体・再現される

今年の新しい空気に目は覚めて、よし悪し、関心無関心に拘らず「零戦」と戦艦大和の名前は日本人として無視する訳にはいかない。日本人の持つDNAそのものでした。薄れたと言えども、国も形造る心も技も決して消滅する事無く引き継がれている。さてミッドウェイ、アリューシャン攻撃」は、開戦、半年にして、情報戦の弱点を衝かれ、艦艇零戦、歴戦錬磨の戦士を失った。その一機アリューシャンの小島、ツンドラに覆わ

れた^{しっち}湿地に、不時着^{き だち}、逆か立して操縦士は戦死、数日後、現場を発見した米軍は、破損機を米国に送った。その後、完成機と同等になる迄復元され、実際に飛ばして、その性能の全てを^{しょうさい}詳細に再現、^{じつどう}実働性能を^{つばさ}具に^{けんぶん}検分した。彼等の見たいもの、あの小国日本^{だいたん}の持つ技術の完成度の高さ、日本人の特性を100%に引き出す、繊細さと、一方更に大胆な攻撃手法、そして彼等が^{きょうたん}驚嘆、^{せんりつ}戦慄した事「おお、^{ゼロファイター}零戦は、防弾装置は、何も無い！」と。これが当時の日本人の精神構造から来る設計思想でした。米軍は急造の「零戦との戦い方」を作る事になりました。又

第1828回例会（2014年1月22日）・ニコニコボックスより

わが ACT 新春の特典

ACT 達の新春例会、西北の名物例会は、京都の文化を^{まんきつ}満喫出来る例会。他クラブからの仲間達、ひょっとして、一生経験しないかも知れない場面、この^{めぐ}恵まれた ACT 生活も、将来の人間性を^{ゆた}豊かにする宝物の一つになって行くでしょう。楽しい事も、苦しい事も、どんと受け止めて、さあ今年も、進み給え。

第1828回例会（2014年1月22日）アクト・ニコニコ箱より

全身解体された零戦

零戦続けます。^{ひだん}被弾、不時着した零戦は、アメリカ本国に送られ、修理再生され、2名の熟練のパイロット将校により、あらゆる性能チェックを受ける。零戦の性能は全て完全に彼等によって^{はあく}把握された。零戦への^{たいこうさく}対抗策が^{ただ}直ちに指示される。対策完了迄は、零戦との戦闘手法は厳しく制限された。零戦とは1対1 ^{かくとう}格闘するな、低速で上昇する零戦を追うな。その速度では、自機が^{しつそく}失速する——など細かく指示された。一方日本空軍の上層部は、一機の零戦の墜落が、いかに大きい影響を日本に与えていたかを、知る事も想像することも出来なかった。^{はだか}裸にされ、全性能を知った。その設計思想に^{しんが}震撼した。アメリカは、零戦を^{りょうが}凌駕する対策をとる、スピードには、零戦1000馬力に対して、2000馬力。そして零戦の驚くべき軽量化——と、ここで、零戦の防弾対策の考え方、撃たれる前に倒せと、日本。^{ひつきょう}畢竟（詰まる所）、アメリカは、1機の零戦には2機以上の自機で交互に撃て、とこの^{かず}単純な数の論理、どちらが^{かしこ}賢いか、どちらもNO？今世界に零戦は文明の遺産として残っている。精神の遺産か。日本、アメリカ、イギリス、等博物館に20機。又。

第1829回例会（2014年1月29日）・ニコニコボックスより

思い出したもう一人の学友

零戦の活躍の時代から、70数年経て、^{なお}尚かつその姿を世界の主要国、博物館に展示され、更に実際に飛ぶエンジンは快調に作動する。こんな飛行機が世界のどこにあるか。最近思い出す事。小生、中学4年の時^{*}、航空隊に入ると言う親友を、本能的に止めろと^と引き止めたつらい思いを。偶然、古い箱から2人の写真、おい写真館へ行こうと言った時のものを見つけた。彼は知らぬ間に学校から居なくなっていた。零戦には^や応急の防弾装置が施されたが、時すでに遅く、敵は^{じゅうき}銃機を強化。零戦は、防弾対策による、機体

50kg重くなり、それを嫌う搭乗員は又機体を裸にして飛び立つ有様。戦場の緊迫感は、中学生にも伝わる。その頃の学校は——又

※ 当時は中学生は5年まで（今の高2）でした。

第1830回例会（2014年2月5日）・ニコニコボックスより

仲間1人去り1人戻る

早いけれど、もうすぐだ、沖幹事は学校卒業後、福岡へ帰郷、石川晃嗣君も英国遊学から帰って来る。沖さんは4月から社会へ、石川君は、地理的な場所ボケが戻り、日本語がうまく出る様になれば、復学、是非又君達の仲間に戻って、イギリスジェントルマンの一端を見せてほしい何れにしても歓送迎会を西北らしく愉快にして差し上げればいかが——2人が揃うチャンスはずっと先でもよいではありませんか。

第1830回例会（2014年2月5日）ローターアクト・ニコニコ箱より

世は戦事色に

1943～4と戦争は、ミッドウェー海戦から、ガダルカナル島、マリアナ沖、レイテ沖海戦へと、2年間、日本海軍は、大量の艦船、零戦、そして戦士を喪失して行った。小生、当時中学4年、四国の小地方都市の県立中学。その1つは軍人幹部養成軍学校を目指す教育を、1つは高校（旧）、高等専門学校、医者などを目指す教育に専念した。前者は将来高級軍人に、後者は文官、医者、企業、時には大臣か、まあ戦争には不適の輩向きか。しかし、世情も、青白きインテリ息子など許されなくなっていました。学校には、軍人養成学校※を目指す人員を増やす指導が軍当局から指示される。生徒の尊敬と人望を集めた校長は知らぬ間に交替、高貴な学者で慈父とも言うべき人物から、いかにも高級軍人風の人物となっている。教師にも途惑が見られた。かなりリベラルな校風ではありましたが、やがて、小さな騒動が起きました。中学生に突き付けられた一つの哲学でした。又

※陸軍士官学校、海軍兵学校初め多数ありました。

第1830回例会（2014年2月12日）・ニコニコボックスより

地下には若芽がACTよ

寒い、実に寒いけれども、地表のすぐしたには、若芽が待ち構えている。若者、ACT達、西北は又、若芽からの成長ですぞ、先輩達、よろしく頼む。

第1830回例会（2014年2月12日）ローターアクト・ニコニコ箱より

ある中学校の相談と、決意

もう70年前、早春、四国南国の中学、県立2校、J中学校校庭、生徒S、「航空隊行くつもりか」生徒「……」、「軍隊なら1年して陸士へ行け」。今、学期末の試験中、「おれ、今の試験、書いていない」「何、どうした」「俺はF先生の話で決めた」「急ぐな、まだ皆おる」「おやじも兄も将校じゃ、おれはむりじゃ」「試験は書け、後2日じゃ」「……」。当時、F先生、国史の担当、すばらしい熱血志士、授業に生徒は皆

肅然^{しゅくぜんとうぜん}陶然^{とうぜん}として聞き入^いっている。彼は戦争に身を投じる決心をした。死ぬな、まだ早い、絞^{しぼ}った声で5人グループは、耳元へ叫ぶ、5人が集まり相談^{ざん}、雑だが早い。彼の答案を書くことにした。その数ヶ月前、1年先輩が、航空隊に入っていて、七つボタンの軍服姿で学校に来た。全員講堂に集まり彼の軍隊調^{かんぐう}の言葉を聞いた。驚いた、あの少々不良っぽいあいつではないか。いつの間に、その凛々^{りんり}しい士官風^{しかんふう}になったのか、全員不思議な舞台を見る様に、ざわついた。これは仕掛けだろう、と思ったが、当時の中学生は魔法^{まほう}にかかった様に、勇士の姿に見入っていた。こう言う時代でも、5人の仲間は、Dを軍隊に行かしたくない。学期試験を受けなければ、留年^{りゅうねん}となり、進級出来ぬ、退学して軍隊ならいける。Dはもう勉強をしていない。5人の内2人が彼の答案^{とうあん}書く。隣接^{りんせつ}の2人が彼の答案をす早く取って、自分の用紙と替える。大丈夫、隙^{すき}はある。この時の少年心理は、「漠然と、いつかは戦争へ行く、今は早い、Dの命を助ける」と言う正義感。しかし彼は、その後登校しなくなり、知らぬ間に航空隊行^{うわさ}ったとの噂^{うわさ}を聞いた。答案は俺に書かせろと言う猛者^{もうしや}も出て来た。これを正義と言うべきか。この1年後我々は、海岸に海軍航空隊の飛行場造成の土木作業に従事していた。ある夜寄宿舎の食堂に来た教師が「ドイツが無条件降伏した。今後日本は、唯一^{ただ}国で47国と戦争をする。覚悟せよ」と、1945年5月14日の事。

第1832回例会（2014年2月19日）・ニコニコボックスより

世に心身共に翻弄された少年達

終戦に近づいた頃の零戦は、目標に体当たりする特攻と言う自爆^{ともな}を伴^{せんぼう}う戦法^{せんぽう}に使われる運命となりました。姿が美しいと言われた零戦は、当時の若者^{けが}により、汚れなき純白の魂を零戦と共に散華^{さんげ}してしまった。今、私の目の前にある2,30冊の零戦の書籍^{しよせき}をみていて、はっとする技術的弱点を、戦後数年して知った事、アメリカは既に同じ弱点を解決していたと納得、又、戦後落ちついて、はたと気付く、あの答案を書く事なく去った君よ、君は我々生徒の名誉をしっかりと守ってくれた事、あの計画を正義などと言って間違いだったと、君は身をもって示してくれた。今、どこに居るのか、心から感謝する、その後3月に卒業した筈が全く記憶が無い、生活は連続して、飛行場作業に携っていた。8月15日の終戦迄、中学生年代の少年には、大波に翻弄されるピノキオの姿。数ヶ月後、友人Nが顔色を変えて来る。「F先生が死んだ」事態を察知して「しまった——」と絶句……

第1833回例会（2014年2月26日）・ニコニコボックスより

ACTよ、君達もやった

オリンピックの選手達、見ていて、精神統一が重要な事を特に感じる競技があります。日本人の得意な座禅、写経、西北ACT達も参加した事がありました。えらい。

第1833回例会（2014年2月26日）ローターアクト・ニコニコ箱より

目盛り以外で測るもの

ソチオリンピック終わり。恐らく今世紀最大の収穫^{しゅうかく}がありました。金、銀、銅以外

にも最高の賞ある事を、世界中の人々が皆、心から認めた事。人類はやっとモノサシで測る以外の魂の大きさを見る事」を経験した。浅田真央嬢に最大の祝福と感謝を、次は日本で。後悔しているかも知れない人を任命した人こそ後悔していないか。たらしめる世紀のレジェンド※たらしめる道筋には、^{さめ}覚ない感動が必要、今こそ――。

※レジェンド：伝説

第 1834 回例会 (2014 年 3 月 5 日)・ニコニコボックスより

説得力満点の……

白衣を奇抜^{はくい きばつ}に染めてやって来た理工学は、博士（未来）に、話して頂いた「ビジネスマナー」は名刺の出し方などでは無く、心のマナーを徹底的に教えて頂いた。その通り、あの軽快な、^{せつとく}説得力満点の怪、いや快教授を招^{かい}聘^{しょうへい}したアクトの眼力^{がんりよく}にも喝采！

第 1834 回例会 (2014 年 3 月 5 日) ローターアクト・ニコニコ箱より

いやおう

否応にかかわらず、日本をうつす鏡

四国太平洋岸の小都市は、終戦間際^{まぎわ}、空襲で全焼、わが学びの舎の校舎は残り、講堂は全損、生徒は四散。その後終戦、更にその後アメリカ占領軍、焼けの原の街に溢れ、ピノキオは、山奥の田舎家に逼塞^{いなかや ひつそく}※1、その時、友人 N が F 先生の自死を伝えに来た。N との間にこの世情^{せじょう}への自分達の対応と、未来への手探りの想いをお互いに吐露^{とろ}※2 し合った。零戦の回顧^{かいこ}から、私的舞台になってしまいました。零戦は当時の日本人の人間性そのものであり、良くも悪しくも、今だに鏡の如く、日本人の心を反映する幾多の技術的、^{なりた}成立ちの残像を見る時、少年の魂は永遠に不変を保っていると思わざるを得ません。

※1 逼塞^{ひつそく} 世間から身をかくす。 ※2 吐露^{とろ} 想いを打ち明ける。

第 1835 回例会 (2014 年 3 月 12 日)・ニコニコボックスより

若々しく引き締った容貌

ACT、学校を卒業する方に申し上げます。要点まとめて、人の前で話す事はまず、出来る様になった筈、社会にでても、まだまだ充電（チャージ）する時期です。十分、本を読み給え、若々しく引き締^{しま}った顔こそ、一番君達に相応^{ふさわ}しく好ましく見える姿です。ACT での経歴も相貌^{そうぼう}を創^{つく}って行きます。卒業おめでとう。

第 1835 回例会 (2014 年 3 月 13 日) ローターアクト・ニコニコ箱より

ご退会への無念

山中祥弘先生、まことになつかしく、当時の頭の中のフィルムの鮮^{あざや}かな映像が蘇^{よみがえ}って参ります。行事の時も忙しく電話で病院に指示を出しておられました。これは大変な事と、痛感^{つうかん}しておりました、これは私達にとりまして、この上無い無念、且つ心残りの先生のご退会でありました。いつ迄もお元気でご活躍の事を。今日は、ご多忙の中、ありがとうございます。

第 1836 回例会 (2014 年 3 月 19 日)・ニコニコボックスより

ご苦労さま ACT 嬢

沖直前会長、現幹事入会早々会長を経験、ACT の重責を全うした、4 月からの実社会

にもきつと、博多女性の本領^{ほんりょう}を発揮し、仕事ぶりは大きく輝くだろう。出身 ACT クラブの将来の発展を祈って下さい。ご苦労さんでした。元気でやれよ——

第 1836 回例会 (2014 年 3 月 19 日) ローターアクト・ニコニコ箱より

この弱点いけない。

日本の第 1 級の研究機関^{きかん}の不思議な事態、STAP 細胞にまつわる突然の出現と、突如^{とつじょ}の消失騒動。いきあたりばったり、日本のまさかの現代世情^{せじょう}に倣^{なら}ったわけではあるまいし。組織^{そしき}のリーダー、上層部には、必ずその組織の持つ成分から発する信号を感知“カン”が働くのです。必ず異常を感じます。その作用が機能しなかった事こそ、現代の日本社会の最大の弱点です。この欠陥は国の根幹に、大きなダメージをもたらします。

この STAP 細胞問題は、まだ、黒白がついていません。生命科学は、注目度が、一般科学分野と比べて、異常に大きいのです。

第 1837 回例会 (2014 年 3 月 26 日)・ニコニコボックスより

継承、覚悟していた

4 月になり、わがアクトクラブは再建後、第Ⅱ世代の活動になります。まだ、第 1 世代の在籍活動してくれている間に、DNA を立派^{けいしょう}に継承^{けいしょう}し、地区での活躍される生石和宏委員の出身母体としての体裁^{ていさい}と責任を、しっかり守っていこう。

第 1837 回例会 (2014 年 3 月 26 日) ローターアクト・ニコニコ箱より

軽量級役者に活

科学者の世界にも、不思議な現象が起きています。この STAP 細胞への驚嘆^{きょうたん}から疑惑^{ぎわく}、イギリスネイチャー誌と言う世界最高権威^{けんい}の舞台に輝いた論文、日本第 1 級研究機関の理研主人公の女性、割烹着^{かつぼうぎ}ドクターの出身母体^{ぼたい}の上司達、又世間の関心満々の科学者達も更に科学行政の役人達も、何故か、今回の問題には、理系行政として整然^{せいぜん}たるべき道筋が、何か混沌としてしています。メディアに出現する前に、これら部門のお偉いさん方は内容も十分理解していたのか、この生命科学分野は、他の科学分野の中でも特に注目を集めます。研究経緯^{けいゐ}に十分、目が届いていたか。世間の雀^{すずめ}達は、割烹着も場違い女性^{ばちが}に、科学の論理も狂ってしまったのかと。所で皆様、昔の総理 96 才でも今も健在、中曾根康弘氏^{なかそね やすひろ}、東大卒、戦中は海軍経理士官、戦後政治家となり科学技術庁長官、自民党幹事長、82 年総理、この御人^{ごじん}、今最も社会の文系・理系に目の届く、本当の知性あふれた傑物政治家^{けつぶつ}とされます。日本頭脳^{おてん}の汚点問題などと言われる事態に、今、日本のこの弱点を予め見つけ出す能力、そのカンを持った人だと感じます。今の日本、「この政治家の軽さは……」とささやかれる世情^{せじょう}、智力・魂・胆力までダイエットしてしまった日本のリーダー、政治家に“活”を入れて頂きたいと待望^{たいぼう}します。

第 1838 回例会 (2014 年 4 月 2 日)・ニコニコボックスより

ACT OB・OGに頼む

ここから西北 ACT、OB、OG に呼びかけます。今の西北 ACT 達は、貴君達が 6,7 年前に、新クラブ立ち上げに奮闘していた頃と同じ境遇にあります。貴君達の後輩に、どうか親身の指導・声援を送ってやっていただきたい。よろしく。

第 1838 回例会 (2014 年 4 月 2 日) ローターアクト・ニコニコ箱より

これぞ曖昧模糊

ナゾの細胞の出現の疑惑について、その論文の妥当性を関係機関のお偉さん方が並んだ、そして明瞭な言葉で、経緯を説明した。ひと言で言えば、主役女性の捏造と過ちだったと言う。あり得ない説明です。それなら、ずらりと並んだ上司、指導者は、一体論文が出る迄、何をしていたのか。そして結局細胞は、あったのか無いかとの質問には我々はそれを確認する役目でないと言う。だとすれば、捏造と言う結論は出せない筈です。大体この論文にある、ある細胞を酸性の液につけると、目的を達すると言う、しかもこの表現はあまりにも漠然としています。酸度 5 か 6,1 なのか、いや HP は 100 分の 1 単位でも測れます。いやそれよりも、こんな偉い人々がずらりと並んで、この問題の核心に全く触れていない現状では、今後、日本の科学論文の確かさ、信用性に大きな疑いを持たれる事になります。STAP 細胞の有無を立証するのは誰か、今までの総トップは誰か。名目でなく、「私だ」と手を上げて明確に名乗る事です。世界は見ています。今の時、第一線で活動する日本人に課せられた使命と思います。

第 1839 回例会 (2014 年 4 月 9 日) ニコニコボックスより

手を広げて迎えよう

大変だろうけれども、ACT 達、MU の行き来をし、他クラブ会員との絆を深めて、ダイナミックな活動に挑戦しよう。新入会員には、両手を広げ、快活に迎え入れよう。キビキビした明るさで、よく語り合おう。

第 1839 回例会 (2014 年 4 月 9 日) ローターアクト・ニコニコ箱より

小さくて結果の多きい技術の差、日本は沈んだ

4 月 7 日、戦艦大和は沈んだ。69 年前の事、3300 余人が運命を共にした。「徳之島の西方 20 マイルの洋上「大和」轟沈し巨体四裂す水深 430 メートル今なを埋没する 3 千の骸。彼ら終焉に胸中果たした如何」電測士として搭乗していた吉田 満 少佐の著書「戦艦大和」の結びの文章であります。私は毎年春 4 月 7 日必ずこの一文を思い出すのです。特攻に出撃するこの大和上空には、1 機の零戦も援護せず敵 3 度の数百機毎の猛爆の果てに大爆発を起こして沈んだ。これは、日本そのものが沈んだ証でもありました。その後終戦、物量の格差、やはり存在したある種の技術の差。こんな小さな事と思う技術の差は、実際は大きな発想の差であり、その差から来る結果の大きさは、致命的な差となって、日本の運命を決定づけて行きました。次に。

第 1840 回例会 (2014 年 4 月 16 日) ニコニコボックスより

今の努力、将来必ず役に立つ

今期も後2ヶ月と少し。先輩達が卒業して大変だろうと思う。先輩達にも、^{てきぐ}手探りの時期があった。体と心をアクト社会に慣らそう、大丈夫、時がたてば必ず自然に動く様になる。それは、一般社会の活動に実に役に立つ経験となります。頑張れ。

第1840回例会（2014年4月16日）ローターアクト・ニコニコ箱より

あの櫻の木の想いで

4月、日本の各地にある櫻の木、今、花は、最もきれいな時。日本人は皆、満開の櫻の木に、深い思い出のある木が、どこかに必ず1本あるはずです。

第1840回例会（2014年4月16日）ロータリー財団より

真摯に向き合おう

パストガバナー服部芳樹様、スピーチご遠方からご苦労様です。^{スタアブ}STAP細胞^{そうどう}騒動も日本の^{ちてきぎょうせい}知的行政の^{してき}痛い所を指摘され、この^{まんえん}急所は弱点として日本に蔓延しています。思い^あ当たれば、立腹しないで、この際^{しんし}真摯に現状を見つめましょう。逃げない事、日本人は。

第1841回例会（2014年4月23日）ニコニコ箱より

ACTよ結びはきっちりと

ACT、今、再建以来の重要な時期、^{たいせい}落ち着いた、態勢をしっかりと見直して、今すべき事、出来る事を皆で^{せいり}整理して、何事にも^{きちょうめん}几帳面に取り組んで行こう。小型でも良い。大ざっぱになるよ。結びははっきりと。OB,OG例会へよろしく。

第1841回例会（2014年4月23日）ローターアクト・ニコニコ箱より

無から有を生むには、^{ひらめ}閃きは^{たき}多岐に、魂を取り込め

50年も前の大学の友人は、日本へ帰国し、東京で歓迎会をした。某国へ造船技術の指導から2年ぶり、所が、えらく立腹の様子。もう2度と行かぬ、あの無礼な態度と。2年前か、ニコニコの文章に「^{このよい事まねして}模倣は^も創造を^{勝てますやるか}凌駕できるか。」の答えには、マネしても魂がマネ出来なければマネは不可、特に人命に拘わる事には、マネは絶対不可と、もう一つの某国の高速鉄道が脱線転覆した時の文。日本はモノヅクリには魂、精神のあり方についての^{おきて}厳しい掟があります。キャプテンの戒律など言わずとも。全て長年にわたるその民族に^{じょうせい}醸成されたDNAとなっています。外からは日本人のこの特性をよく見極める事です。自認、若者世代に申し上げます。暮れなずむ精神世代は、^{ふうぜん}今や風前の^{いざ}漁り火、この日本人の大切な精神の^あ有り様について、十分には、子に伝えなかった^{ざんぎ}慚愧の念が有ります。親の背を見ろなどと言うが、団塊との距離は大きい。しかし日本人まだ背骨は丈夫。この漁り火世代、戦後街の^{いちごう}一隅で計測器の製造に従事。ある日不思議な商品とカタログを手にする。現在は珍しくもない商品、“0”リング、数ミリから10センチまでのゴム輪、簡潔に申します。液体モレを防ぐパッキングで今迄、面で止めていたのを線で止める、ぴたり止まるこの発想。かつて零戦はエンジン^{オイル}油モレで多数飛行

不能になりました。面を線にする。極端に小さいミニチュアベアリング、同じく極端に小さい金属ベローズなどが出現、戦後の精密機器の性能は目覚しく向上しました。発想の転換による社会の進歩、それは物事は皆、その深奥を知る事によって発展して来ました。14 気筒 1,000 馬力、よくぞ世界一に、次回に、世界の一口評価で戦争を終わります。

第 1842 回例会 (2014 年 5 月 7 日) ニコニコ箱より

合掌「学働遊悠」

白井治夫会員、長い間奥様には、最先端・最善の医療をなさって来られました。白井さんの愛情あふれる看護を受けられ、お 2 人で立ち上げられた会社には、この春も満開の桜が、奥様を見送った事でしょう。立派な後継者も育ちつつあり、心安やかに逝かれた事でしょう。頂いた墨跡豊かな額の「学・働・遊・悠」を全部全うされました。ご冥福を心からお祈り申し上げます。合掌。

第 1842 回例会 (2014 年 5 月 7 日) ロータリー財団より

西北 ACT OB・OG の見えざる力

西北 ACT,OB,OG が世界社会の奉仕活動に機能している事に、感動します。西北ロータリアンの助力にも感激し、ACT の卒業者に、人間として他者への奉仕精神と優しさが根付いている。今西北 ACT は少し静か、こういう時 OB・OG の見えざる力が何と大きな励みになる事か。継続は力——

第 1842 回例会 (2014 年 5 月 7 日) ローターアクト・ニコニコ箱より

零戦を語るは日本人を語ると同義語

80 年近く前に生まれた零戦と言う怪鳥、いや快鳥の追憶—1941 年 12 月の日曜の朝。ハワイ真珠湾に乱舞した小型細長い灰色の戦闘機が残した無残な戦禍に世界が戦慄東洋の黄色国民の作戦とは合点がいかぬ。その後アリユーションで入手した零戦の徹底調査でその実態を知り、驚愕、その後英国の航空評論家は零戦は日本の作戦の象徴、日本の運命と同列の運命とし、更に無敵日本軍の神秘性と零戦の飛行性能の神話が作られ、これはモノマネでは無い事を知る。特に操縦系統の独特の機構は、人間の感覚の特性を極限に迄最高に引き出す発想が考案されていた。そして零戦の優位性をボクシングにたとえると、相手より 1 インチ長い手を持つ選手だと評した。戦後 20 年の頃アメリカ某議会の壇上で零戦が引き合いに出され論議の種になり、その後 72 年アメリカ 2 ヶ所の航空関連機関で、「零戦は航空史最上の飛行機である」と語られたと。アメリカは敵の物でも良い物は良いと率直にほめる。しかし、一方、ヤンキーイズムはやはり悔しい。黄色が何故と当時として思っただろう。この参考文献の最後の記事。あるアメリカの雑誌 (終戦直後) にあった記事の話、「若い女を口説くのはむずかしくは無い、Ziro を墜すのは容易でない、又あの女 Ziro より手ごわい」—この文献の著書の名を思い出されよ。このたとえば、日本人には決して、特攻と言う零戦の終末を思う時、笑える話ではない、それは血と涙の凝縮した日本魂の歴史遺産と言うべきか——

長い間お世話になった文献再度

「零戦」1992,8,10日発行 著書 堀越二郎 奥宮正武 発行 (株)朝日ソノラマ、全 642 頁

第 1843 回例会 (2014 年 5 月 14 日) ニコニコ箱より

春休みから戻ろう

春の長い連休、いかがでしたか、学校、ACT、会社それぞれの場所・活動に戻ろう。元氣に戻って、暖^{あたた}めていた新しい計画に早速、取りかかろう。もうすぐ、期が終わり、又始まる。

第 18423 回例会 (2014 年 5 月 14 日) ローターアクト・ニコニコ箱より

日本の現代の急所

どうしても今回の新細胞研究にまつわる問題は、ふかしぎな気分一杯です。並んだ男性達の誰が最終 OK の結論を出して、あの発表に至^{いた}ったのですか。不備だと言われて初めて気がついたのですか。あの論文はどなたの指導ですか、世に発表された時世間と一緒に喜んだのですか。初めて知って驚いたのですか。今の日本社会の一番気になる他位ある世代の行動様式^{こうどうようしき}を如実に物語っていると思われませんか、日本社会の急所そのものです。

第 1844 回例会 (2014 年 5 月 21 日) ニコニコ箱より

日本特有 (unigue) 動作

日本に不自由なく生活出来る様になりました。日本語に、ツツ謹しむ (いそしむ) という言葉があつて、英語で言えないとの事, apply oneself to~ではニュアンスが異なります。「いそいそ」とは、何かを楽しそうに行動する様子の日本人の行動原理に見られます。

第 1844 回例会 (2014 年 5 月 21 日) 米山ボックスより

アクターOB、OG 共々で

もうすぐ ACT の地区大会、もし可能ならば、OB, OG, 皆さん、応援に参加してください。ACT、OB, OG はもう社会への奉仕」の機能を身につけた立派なエリート社会人として、後輩の成長を祝してやって下さい。

第 1844 回例会 (2014 年 5 月 21 日) ローターアクト・ニコニコ箱より

自問自答されよ、この研究所に魂が根付いているか

研究は自由な環境でこそ成果が出ると言われます。こんな話があります。ある企業の研究部門は、本部から遠方にある。一人の管理職が、従業員の動向が気になる。目に見える近くに移そうと考えている。しかし、その研究所の近傍^{きんぼう}には、交流先の国立大学、他の有名企業の研究施設多数、更に関係する日本の有名半導体工場が林立し、更に研究者を癒^{いや}す風光明媚な環境、空港に近く、アクセスは、世界からダイナミックに可能。しかし管理担当者には、不安、研究の事は判らぬ^{わか}が人影^{ひとかげ}は無いと心配。しかし本当の研究者であればその考えは全く違う。その環境が重要と言う。まず入室^{にゅうしつ}して担当者と話す。その応答、顔を見、質問し、ノートーを見、使用中の文献、近くの白板の内容。彼等仲

間同志の会話雰囲気などで、研究長としてのとるべき事態は一瞬にして判る。必ず絶対に感知出来る筈です。自分のすべき対策、その強弱、事態への肯定度、黄信号か赤信号かも必ず判明します。彼等との交流時の目の光、お互いの感性で、研究の進歩は確実に判断出来ます。この過程で上司は、研究の道順は過る事は無い筈です。研究にとって大事な事は、自分達は信頼されているか、上下関係のこの信頼感こそ絶対必要であります。管理を監視と考える様になればその集団は崩壊に向かうでしょう。今、世間を騒がしている研究機関、もう 30 年も前、1 人の研究員と最高の交流をしていました。当時その研究所は、当時も、日本の輝く星でした。いつも我々は尊敬の念で見えておりました。今後共、そうであってほしい。研究の仕事は静かで力強く、文明社会を背負って、清冽であるべきです。知性に溢れ、革新性を求める環境こそ居るべき場所と思います。

第 1845 回例会 (2014 年 5 月 28 日) ニコニコ箱より

ホームページに ACT 達、しばし見入る

ACT 達、西北ホームページに、活躍の様子に出ていて嬉しい。しばらく見ていて、チャターメンバーもいる。あゝ 長くよく頑張ったなと思う。OB で又よろしく。

第 1845 回例会 (2014 年 5 月 28 日) ローターアクト・ニコニコ箱より

自分をロータリーに駆るものは Speech での名言

丁度 1 年になります。昨年 5 月の Speech に「私を R に駆けるものは何か」と言う演題、入会后、年数の若い方、そして年令も若い方の Speech その後この 1 年でご本人は気がついておられないかも知、しかしすばらしく大きく、明確に実感出来る成長をされました。驚くべき現実です。どうやら、昨年 8 月の IM 実行委の大先輩会員方の、やって見せる式の十分に手慣れた西北独特の心身一体の目的達成指導要領に、大いに西北魂を体得し、貴重な力を身につけられたものと思われま。次世代西北 RC を背負って、その歴史を積み重ねていかれる重要な世代、もう十分その下地が出来上がっております。まだほかに居られるこの世代会員を含め、入会を世話された、ご紹介者会員のご努力に、絶大なお礼・感謝の気持ちで一杯であります。老・若皆様方、R に、わが命ある限り人生の定年はありません。R、と言う、人への成長を、1 年刻みで続けて行く人生の花・華を大切に致しましょう。上記 5 名のスピーカーは、皆様珠玉のはっとする名言を残されました。又 次に

第 1846 回例会 (2014 年 6 月 4 日) ニコニコ箱より

自己確立への道

西北 ACT 達、日の浅い会員が多い、アイデンティティと言う言葉、個性、特性自分である事の自覚、苦しくても西北 ACT である事をしっかり身につけよう。先輩の歩んだ道を知り、他クラブへ M U 行きも努力し、独自意識を持って、「自分のアイデンティティは……」と、心に言って見てほしい、今は、自己確立の時

第 1846 回例会 (2014 年 6 月 4 日) ローターアクト・ニコニコ箱より

新鋭会員の意識

1 年前に「自分を R に駆るものは何か」と、スピーチをお願いした 5 人の新鋭会員

殿、自分を R へ動かす原動力を、声高にいうには、時期尚早と思われたに違い無いと——しかしその危惧の念、は全く無く、皆さんもう十分に R に立ち向う意志と確たる目的、特にその意義を十分に自覚しておられ、己の仕事との折り合いを、うまく賢明な手法を見付けて、仕事上手に、こなしただ上で、人に奉仕をする事の意義をつかんだ。ロータリアンのあるべき姿をそれぞれの立場で自覚されました。将来の西北 RC を運営する力量を益々蓄積しつつある姿を十分に感じさせて頂きました。その一端にきらめく「至言」※はわがクラブを支え成長させて行く、新しいエネルギーとなっています。入会後に掴んだこのすばらしい一言を——又 次に。

※ 至言（しげん）：真実を的確に言っている言葉

第 1846 回例会（2014 年 6 月 4 日）ニコニコ箱より

人道の迷走をいかにする、R よ

日本人はいつの間に、子供をこれ程粗末に扱うようになったのか。食べ物を与えないで部屋に閉じ込める無慈悲、冬眠から目覚めた白熊母子の氷原での決死の育児 TV を見ていて、あゝ」動物園に鬼畜と言う生物の檻を、哺乳動物の隣に置き、収容すればよい。R は人類のこの種の劣化に、どう向き合えばよいのか。病んだ精神を、生まれた時の初期化が出来ないか。人類の美と醜の混在は、文明の発達と共に多くなっています。

第 1847 回例会（2014 年 6 月 11 日）ロータリー財団より

わが ACT 成長には根拠がある

わが ACT、限界集落にならないかと心配したけれども、根本的に違う、これらは若い。何より強い 30 才迄の、それも尊い明確な目的を持ったグループ。1 人 1 人のキリッとした容姿を見る時、経験は浅くても、西北 ACT の DNA を持つ貴君達のこれから成長には、十分な根拠がある。期待しています。楽しみです。

第 1847 回例会（2014 年 6 月 11 日）ローターアクト・ニコニコ箱より

M・S、Z・I、M・F 会員の至言

西北若手は全てが新鋭会員であります。その中に澤田守成会員はもう入会 8 年のベテラン、正に正真、中堅会員であり、社長業と R の重責を背負う生活の推進の為には、関連する全ての人々、機関との調整に、根本から見直し、家族初め、取引先共多く理解者を得た。R で、先輩・後輩の橋渡しを存在意義と考え、実行には自他共に、「意識改革」の必要性を痛感した。その牽引力の発揮には「日々、人間力高揚」への努力こそが私の努め、と結んだ。ほぼ同年代の池内善一会員、入会後、日は浅くとも、お父上の R、DNA は堅持されており、まず R そのものの勉強、次に、参加して身につける、先輩に感じる誇り、志の存在、それ故の豊かな人間性を手本として、自分も何かの社会への「使命感の希求」崇高な目標を求める、と言う信念を短期に獲得された。これ nobless oblesse 社会的地位に見合う社会への貢献、と言う世界共通の立派な人間の特性ではありませんか。昨年の若手スピーチで、とりわけ若い藤本誠会員、しかし入会後既に 5 年半の経験をつかんでいました Speech も、思った以上に平静に対応でき、入会 5 年の経験は無駄で無かったと実感、その間、R の厳しさ、優しさ、付き合い、R の意義を知り、

この場が「自分の成長の為の居場所」であると確信したと。確かな事は、これから R で、今迄の人生以上の航路を、若くから進む事の幸運を、どうぞ最大にいかして、頑張ってください。

第 1848 回例会 (2014 年 6 月 18 日) ニコニコ箱より

ACT 地区大会にて

ACT 地区大会、珍しい会場も又、京都らしい趣^{おもむき}がありました。久しぶりに男性会員達に会った、おお、あの生き生きした顔を見てうれしかった、そして新しい年度への意気込みも見せて安心した。今年・来年度の ACT 委員長、内橋・桂田会員殿、日本の次世代を立派に育てて下さい。西北 ACT 達を、手塩^{てしお}にかけて、申し分の無い青年、淑女にして、世に送って下さい。人材育成は、超重要な我々日本人の義務^{しゆくじよ}と思います。

第 1848 回例会 (2014 年 6 月 18 日) ローターアクト・ニコニコ箱より

A・K M・U 会員至言、福田水曜学校に感謝

皆様、私達も入会した頃は……入会 5 年を歩んでおり、実に多くの R・実務^{じつむ}を積極的に実行する桂田明久会員 1 年目の障害者シンポジウム、2 年目の財団委員長、3 年目の SAA を経て、強^{きょうじん}靱な R 活動への意志を自覚、そして、真の親睦活動のあるべき意義を「本当の親睦とは何か」と熟考し、己の責任・義務^{みす}を見据^みて、ロータリアンのあるべき姿に“ノブレス・オブリージュ”の意味へと理解^{びこう}の微光を感じた。実に短期間に、ロータリーの核心に迫りつつある。後輩又若い世代も含めてどうか、先導^{せんどう}の労をとって頂きたい、お願い申しあげます。内橋雅志会員仕事の多忙^{たぼう}、社会環境の激変、辛い思いをされた事、もう十分理解できます。しかし小生は貴殿から実に、魂に沁みるすばらしい言葉を聞かせて頂きました。4 年目を歩み、^{あゆ}「純粋で可愛いわが子よ」35 周年・シンポジウムに参加して R に入会を決す。ここは「良い人に出会えた」・一緒にいたい・共に何かをしたい——と思える人がいる」「人がつながる、仕事もそう、それが又、明日から活動の動機になる。」「何でも一生懸命にやる」「イベントもサッカーもなんでも」更に彼の言葉「基本は、人が好き好きです」何と人間味あふれる言い分、これこそロータリーの根本です。どの社会の始まりも「人間が好きだ」から始まると思います。貴殿の将来、ご家族に幸あれ、昨年^{きんねん}の 5 名の若手会員 Speech をまとめました。一言で、わが西北 RC の将来は洋々であります。又の、若手会員 Speech 登壇を期待致します。今期の全ての活躍にブラボー 5 名至言——澤田 (守) 会員・「日々人間力高揚」、池内会員「使命感希求^{きききゅう}」、藤本会員・「成長の為の居場所」、桂田会員「責任・義務・誠心誠意」、内橋会員「人間が大好き」——全ての思いに、感謝、感謝。すばらしい今年 1 年、敬虔な気持ちで、福田水曜学校に、毎週、通わせていただきました。感謝申し上げます。

アーメン——

第 1849 回例会 (2014 年 6 月 25 日) ニコニコ箱より

OB OG 存在感、存在意義は大きい

桂大介君、8年以上も、最後までよく頑張った。有難う。立派な紳士となって、西北 ACT で、名を残してくれた。旧姓小倉美穂子さん、そのよく透^{とお}る声で ACT 達を、いや私達をもビリッとさせてくれた。ご苦労様でした。お二人共、よい伴侶^{はんりよ}を得て、西北 ACTOB・OG が賑^{にぎ}やかな社会となって、将来共、心が通^{つう}じ会える仲間同志となりますように。来期も頑張ろう。

第 1849 回例会（2014 年 6 月 25 日）ローターアクト・ニコニコ箱より